

地域の活動拠点のあり方検討会 ニュース

In 渡内

令和7年度 No.001

発行者：

東海市総務部市民協働課

地域の活動拠点のあり方を考えています！

- 渡内コミュニティでは、令和4年度（2022年度）に地域の将来像「わたくち将来ビジョン」を策定し、その実現に向けて様々な活動を展開しています。
- 令和6年度（2024年度）から、地域課題の解決や活力の創出につながる取組を行うための活動拠点のあり方について検討しています。
- 令和7年度（2025年度）第1回検討会は6月27日（金）に開催しました。
(参加者11名)
- 令和6年度（2024年度）の検討経過をまとめた「あり方検討会のまとめ」でふりかえりを行った後、各施設の最新情報の提供を踏まえ、今年度の進め方について意見交換を行いました。引き続き、地域の合意形成を積み重ねながら検討を進めます。

地域の各施設の最新情報を共有

施設(所管課)	内容
渡内公民館 (社会教育課)	<ul style="list-style-type: none">・4月から17~21時の施設管理をシルバー人材センターに委託・7月11日から平日の夜間に空き室を学習スペースとして開放(中高生対象)
泉児童館 (こども課)	<ul style="list-style-type: none">・コロナ禍が明け、従前の利用者数に戻っている・小学生の利用が市内の児童館で一番多い
渡内敬老の家 (高齢者支援課)	<ul style="list-style-type: none">・利用者数が多い(年間延べ2,500人程度)
渡内小学校 (学校教育課)	<ul style="list-style-type: none">・小学校のプールは現在授業で使っていない。集約化・複合化の議論が進み、地域の活動拠点の候補地がプール用地に絞られた際には手続きを行う。

今年度の進め方について意見交換！

- 以下、意見交換の主な内容です。

テーマ	意見・議論内容(要約)
検討過程の共有	<ul style="list-style-type: none">・コミュニティとしては、当初、今後のコミュニティ活動の展開を見据え、コミュニティの活動拠点として、事務所や倉庫の拡充を想定していたが、「10年後のまちの姿」を考える必要性を実感し、ハード面とソフト面を並行しながら検討を進めている。・昨年度の検討会では、それぞれの整備候補地にどのようなメリット・デメリットがあるかの検討や、活動拠点の利活用のイメージや期待する役割・効果について様々なアイデアが出されており、こうしたアイデアを実現するために拠点が必要である。
児童館の機能について	<ul style="list-style-type: none">・児童館が集約化・複合化により新施設になった場合、子どもたちが、これまでのように満足感をもって利用できるかが気になる。
地域の防災機能について	<ul style="list-style-type: none">・災害時に拠点避難所である小学校に避難することを考えると、小学校のプール用地が候補地として適当ではないか。
今後の検討会の進め方にについて	<ul style="list-style-type: none">・必要に応じて、各関係施設の関係者が集まり個別で分科会を開催(8~9月)する。基本情報を提供し、これまでの取組等を共有したうえで、活動拠点の必要性に関する地域の意向を確認する。・分科会を踏まえて、第2回全体会を開催する。

本取組に関するご質問等は下記までお問い合わせ下さい

連絡先：東海市市民協働課

電話：052-613-7526

0562-38-6141

Email

chiiki@city.tokai.lg.jp